

# 舟入20期同期会便り

2000年7月  
(第3号)

## 第3号発刊によせて 末田義博

同期生の皆さん、お元気でお過ごしのことと思います。

さて、14年前から皆さんの協力のもと、同期会の組織作りを行なってきましたが、今後は同窓会との連携も視野に入れた運営もしていきたいと考えており、20期の代表委員(末田義博)に加え、渡辺潔君、岡崎研児君、中脇令子さん、赤峰敬子さんの4名を副代表委員として、サポートして頂いております。

ついでには、同期会年間運営費1,000円に加え、今回から、同窓会規約にあります同窓会費(年間運営費)として、1,000円をお願いいたしたいと思います。出費のかさむ折り、誠に恐縮ではございますが、ご協力の程、お願いいたします。

## 千田保育園をご存じですか。 末田義博

- ・ 全国で唯一の同窓会(社会福祉法人二葉会)が運営している保育園です。
- ・ 市女(広島市高等女学校)の先輩諸子が、女性の社会進出するに当たり、必要不可欠な施設として、苦勞して作られた施設です。
- ・ 市女卒業生の高齢化(最後の卒業生が現在66歳)に伴い、早急に、舟入側が人的資金両面で運営支援をする必要があり、舟入・市女同窓会の今後の重要課題のひとつです。
- ・ 広島市で最初に夜間保育を実施した保育園です。
- ・ 非常に、評判のいい保育園です。

### 1 名称 千田保育園

社会福祉法人二葉会(理事長 中谷ミサ子)が設立  
運営 千田保育園後援会(会長 竹田雅子)が  
運営支援等

### 2 開園 昭和28年9月22日(幼児60名、職員3名)

### 3 場所 中区千田町二丁目5-12

### 4 定員 乳児:75名、幼児:110名

### 5 職員 35名

### 6 建物 鉄筋コンクリート造2階、延べ857㎡



## 創立50周年によせて 赤峰敬子

広島市立舟入高等学校(開校当時:広島県立広島舟入高等学校)は、市女(広島市立高等女学校)をその前身とし、六・三・三制の学制改革、共学制、学区制により、広島二葉高等学校を経て1949年(昭和24年)に広島市を中心とする第四学区の普通科高等学校として歩み始めました。

こうしてアカシアと共に歴史を刻んできました私たちの母校も、21世紀目の1999年に創立50周年を迎えることとなりました。

11月13日午前10時より、舟入高校にて学校主催の記念式典と今西和男サンフレッチェ総監督(第10期卒業)による記念講演が行われました。

また、午後6時30分よりリーガロイヤルホテル広島にて来賓をお招きし、同窓生・学校関係者770名が出席する中、創立記念祝賀会が開催され、成功裡のうちに終了いたしました。

当日は、各期ごとに分かれての受付に多数の同窓生が集まり、会場のロビーは大変な賑わいでした。

また、私自身、懐かしい先生方や諸先輩、後輩の方々にお会いすることができて、高校生の頃にタイムスリップしたようでとても感激いたしました。

立食ビュッフェでの会が始まり、次々とプログラムが進行する中、各界で活躍されている著名人の方々とビデオレターで紹介するなど、2時間余りの祝賀会はあっという間に過ぎてしまいました。

また、会の終了後は各期で同期会や二次会が行われ、名残は尽きないようでした。

私も、20期卒業生の一員として祝賀会の準備委員会のお手伝いをさせていただきましたが、その会議のために久しぶりに訪れた母校はすっかり近代的な校舎に建替えられ、とても驚いた反面、木造校舎や正門に入ってすぐの石庭など昔の姿は何処にも見当たらず、なんだか寂しい気持ちもしました。

皆さんも一度 母校を訪れて見ては如何でしょうか。

最後になりましたが、卒業生全員に、あるいはせめて20期の皆さんには一人でも多く祝賀会の案内をと考えておりましたが、会場や日程的な事情から叶わなかったことを残念に思っております。

近々、20期同期会を企画しようという話しも出ておりますので、その節は一人でも多くの方にご参加、ご協力をお願いしたいと存じます。

**同期生カップル** 光岡英司(9組)・順子(旧姓 瀬川 9組)

同級生の皆さんには、お元気でご活躍のことと思います。

何せ女房とは同級生ということもあり、何度か開かれたクラス会には女房が右代表ということで、私自身は出席したことがなく、申し訳なく思っております。

末田さんからの突然の原稿依頼に戸惑いましたが、不参加の罪滅ぼしと思って拙文を寄稿することを決断した次第です。

私と女房は、今は東広島市となって大変な発展・変貌を遂げておりますが、私が当時の賀茂郡でも田舎町の志和町、女房は賀茂郡の中心地で町であった西条町に自宅があり、同じ汽車(当時はそう言っていた)に乗って通学したのですが、何かしら気後れして、会話を交わした記憶がありません。田舎での秀才?も広島の高校に入ってみればただの凡人、この時のカルチャーショックはその後の私の人生に大きな影響を及ぼしている次第です。

そうしたことで、高校時代の女房とは全く疎遠であったわけですが、私が大学を卒業して、地元である東広島市役所に就職してしばらく経った時、女房が市役所にアルバイトで来たことから付き合いが始まり、卒業時が同じクラスであったことさえ覚えていなかった私とすれば、なにかしら赤い糸の縁を感じずにはいられませんでした。

クラスメート同士の結婚の良さについてよく質問を受けますが、私は何と言っても、同じ経験の共有や同じ年ということからくる話題の共通性にあると思います。家庭生活では、こんなフランクな関係から醸し出される安らぎ感が、私にはとても助かったと思います。

また、結婚してからずっと私の母と同居していますが、夫婦関係や子供の教育にとって大変良かったと

思っています。(私が思っているだけか)

結婚してから早や21年、男の子3人も高校生2人、大学生1人となり、お互い共稼ぎということもあって、仕事も忙しく子供のことや農作業などのことも相俟って毎日バタバタと過ごしており、依頼された趣旨の原稿になったかどうか疑わしいものとなりましたが、こちらでペンを置かせていただきます。

**同期生カップル** 題：彼女 豊田真一(9組)・よしえ(旧姓 松本4組)

雨の降る日は、左手にカバン右手に傘と両手が塞がっているの、門扉を開けるのが容易ではない。どうしても雨に濡れる。一張羅の背広の時は気がきではない。

彼女が先に開けていてくれればと思うのだが、とんと気が付く気配はない。たまりかねて、ある時、そのことを言った。そんな事、もっと早く言ってくれればと、たやすく応じてくれた。

それ以来、雨の日も困らない。

一度も社会に出てお勤めというものを経験していないから、(と言うより経験させなかったと言った方があっている)その結果として得られるいわゆる常識に少し欠けているようだ、彼女は。

だがこちらが言えば、軽く応じてくれる。言えばいい。

先日、朝食を摂っていると、彼女が大騒ぎをして家に駆け込んできた。なんでも、隣の空き家あたりから「ウー、ウー」という獰猛な犬の呻き声がすると言う。私が仕事に出て行く時、噛まれないように気を付けてと、えらく心配している。家を出る時、何を思ったか、私より先に出て物置から細い箒を出し、私の前を歩き出した。か細い体、か細い腕にいまにも折れそうな箒を持ち、私を守って敢然と前を歩く。

彼女でよかった、この妻でよかった。

危険な場所を過ぎしばらくして振り向くと、家の前に立ち、手を振る彼女の姿が、潤んだ目に、ぼやけて見えた。

あれは高校2年。転校初日。教壇の横で紹介を受けた時のことが、今でも鮮明に脳裏に浮かぶ、まるで映画の1シーンのように。私の目には、彼女だけが見えた。

それからまもなく交際が始まり、たしか2ヵ月後、私は一生彼女と共に生きようと心を決めた。彼女も、同じ気持ちだった。

プロポーズの言葉などなかったと思う。将来別々に生きることなどお互い、頭になかった。

朝出て夕方5時過ぎには帰宅。そんな私を望んだ彼女の反対を押し切って歯学部へ入学。大学5年の時に結婚。それから一男一女をもうけた。私と同業を目指す長男(舟入高校卒)は大学2年で現在岡山、卓球に夢中の長女は中学2年、今我が家はまな娘の天下である。

社会での仕事を経験していない彼女は、社会で汚れた私に、いつも、純粹で的確なアドバイスをくれる。

今の私が在るのは、そして胸を張って2人の子供を誇れるのは、その大半を彼女に負っている。

今日、弥山に登った。たかが弥山と思ったのが大間違い、普段の運動不足が祟り、かなりてこずった。

途中、か細い彼女に私の荷物を持ってもらい、やっと頂上へ辿り着いた。「重いことないかいのう。」

2つの荷物を持って彼女は言う。「私は、このくらい何ともないけえ。フォローミーよね。」 「……」

帰路につくやいなや妻は眠り込んだ。熟睡したかわいい妻に小声でささやいた。

「フォローミー」

**同期生カップル** <結婚までのなれそめ> 横田公荘(8組)・孝子(旧姓向井1組)

大学を出て広島総合銀行に入社、舟入支店に配属になりました。当時新入社員は、先輩の女子行員からマンツ・マンで3ヶ月びっしりつきっきりで指導するという制度があり、自分を含めて4人の新入社員がいましたが、男性は私1人。

銀行の支店の中は独身女性20数名で、独身男性は私を含めて2~3人という状態(今では夢物語)でありましたから、私のようなスポ・ツマンで容姿端麗、おまけに今風にいえばキムタクまがいとなれば誰が指導するのか、それは大変な争奪戦であったと後で書いております。

当時の支店では、義理人情・年功序列の世界であり、その時私の指導にあたったのが今の本妻(以下彼女、と言わせて)ということになります。彼女は高校を卒業して、すぐに銀行に就職していましたから、その時すでに勤続6年ベテランの域に達し、給料もそこそこもらっているし、毎年は入ってくる新入社員は頼りない者ばかりだし白馬の王子はいつ現れるの???という状態であったことはたぶん間違いないことと認識いたしております。

当時はまだコンピュー・タ化されておらず、朝7時半頃から夜は9時、10時頃まで遅くなっていましたから当然、指導を受ける時間も長く、今不確かな記憶をたどれば、そこら辺で惚れられたのではないかと推察いたす次第であります。(今では恐ろしくて彼女にこのことの確認聞き取りは勘弁ねがいます。)

2年が経過し27になるので、同じ年であることは知っていましたから、私が結婚してあげないと一生独身かもしれない?との判断から28にして結婚を決めた次第であります。恥ずかしながら、結納までまさか舟入高校とはつゆ知らず(彼女は知っていたみたい)びっくりしたことをおぼえています。

<家族状況> 本妻・女(大学4年)男(大学3年)女(中学3年)

<高校時代の思い出>

可部中だったので通学に約2時間、サッカー部に入るも1週間であきらめた。

2年の終わり頃から地学班所属。

家が市内であったらサッカーをしていたでしょう。3年間6;15発のバス、7;50舟入高校着、おかげで遅刻皆無。好きな体育系のクラブにはいれず勉学一筋。(とても悲しい)

<その他>

高校の反動で大学ではサッカー一筋。今もサッカー部所属。年2試合位試合にでて70分フルに走っています。

ヘディングのしすぎで頭部毛根希薄。社内ではキムタクの兄貴から、モト冬樹に改名させられています。

**あの頃のこと** 中原信明(4組)

1. 舟入高校が長髪解禁になったのは昭和44年だった。私が高校3年の卒業間際であったように思う。みんな「よーいドン」で伸ばし始めて、卒業式の時にはそれなりに伸びた者とそうでない者とが顕著に表れたものだ。自分がどうであったか今思い出せないが、人の様子ははっきりと覚えている。異様な様子であった。

2. 私が高校2年のときだったと思うが、外林校長が退任されたときのこと。当時外林校長宅の3件隣にお好み焼屋があった。土曜日の部活の始まる前にその店に仲間と連れ立って行き、「肉、玉、そば6丁」と口を揃えて注文をすると、そこのおかみさん「校長さんが辞めるのもわかるような気がする、こんな大飯喰らいの生徒がおるんじゃけーのー」と言い「わたしゃーよう作らんけー帰ってちょーだい。」と言われた。

いまだにそば6丁と外林校長が何の関係があるのかわからない。

## 舟入 20 期バレ - 部 OB 会報告 岡崎研児 (2 組)

昨年 11 月 23 日に男女混合で 20 期バレ - 部 OB 会を開催しました。

当日は 11 時に舟入高校体育館に集合し、前日から実施していた現役バレ - 部の合宿・練習を見学した後、学校近くの中華料理店 (敦煌) で会食しました。参加者は 女子バレ - 部顧問の野中先生、由田さん(1 組現姓: 木下)、青山さん(1 組現姓: 堀田)、小曳さん(1 組現姓: 小川)、炭村さん(15 組現姓: 壇野)、沖田君(10 組)、木村君(8 組)、小堀君(13 組)、そして岡崎(2 組)の計 9 名でした。現在の男子バレ - 部顧問の佐伯先生は、22 期の卒業生でバレ - 部の後輩に当たるため、当日はバレ - 部の練習を組んで頂くなど、お世話になりました。また会食にも参加していただき、会費から少しですが、バレ - 部へのカンパを送りました。30 年ぶりに会う人もいましたが、すぐに打ち解け高校時代の話に花が咲きました。

また 2 時間の会食では物足りず、場所を変えて 8 時過ぎまで残った人もいました。

新しくなった舟入を見て、バレ - 部の練習も見学しようと集合場所を学校にしましたが、アカシアの木が無くなっているのは、皆さん少し淋しい思いをしたようでした。

再会を約束して分かれましたが、(これからは、毎年一回やったらとの意見もありました。)当日は、遠路東京から (沖田君) 関西から (小曳さん、炭村さん) 等からも参加して頂き、大変御苦労様でした。

また金重君 (11 組) の連絡先が不明です。どなたかご存じの方がおられたら、連絡をお願いします。

## とっても楽しい一日 末田文孝 (10 組)

我々も子供から手が離れる時期となり、一泊で同期会をやってみたいかどうかという酒の席での話、「まあ 取り敢えず日帰り、それもアウトドア感覚にしよう」ということになり、5 月 14 日山口県は大島サンシャインサザンセットで温泉に入り、釣りでもしようと企画しました。

当日、8 時半集合。幹事の私は 10 分前に行くともう全員 19 名が勢揃い。中型とはいえ近鉄観光バス 1 台借切り、いざ出発。皆笑顔で一杯。幹事の「本日の予定は全くなし、皆自由に遊びましょう」との説明が終わるや否や、もうバスの中はワイワイガヤガヤ、久しぶりに参加の人、また夫婦、親子の人皆それぞれに話が弾みます。10:30 ホテル到着。

真っ白なホテルの前には、真っ白な広いビーチ。フロントで打合せをする間もなくビーチへ直線。何人かは釣りに他は部屋でビールを飲みながら末田(B)の笑い話に腹を抱えて大笑い。

あっという間にランチタイムとなり、案内された宴会室は丸テーブル 3 つ、とってもリッチな雰囲気、末田 A(4 組)の挨拶、岡崎君(2 組)の音頭で乾杯の後自己紹介。

2 時間があっという間に過ぎ、またビーチに集合。

そこでは久しぶりに参加してくれた半明君

(11 組)が爆笑トーク、彼の新しい一面を発見。3:30 にはチェックアウト。

近くの一場で新鮮な魚等の買い物をし、帰りのバスはカラオケ大会、盛り上がりは半端ではない。隣を走るバスの乗客からの白い目も全く気にしない。やがてバスは無事到着、5:30。

今回 2 回目の日帰りツアーを企画し、楽しい時間を過ごし身も心もリフレッシュしました。

この舟入 20 期という切っても切れない仲間、これからも長く続く大切な友達との楽しい一日でした。

次回には是非とも誘い合って参加いただきますようお待ちしております。



## 同窓会総会について

今年度の同窓会は、理事会・執行部・代表委員会等で種々検討を重ねた結果、出席者を多くする、費用を安くする、当番幹事の負担を軽くする、同期会を活性化する、マンネリ化を解消する、等々の考え方を前に出して、試行錯誤しながらでもトライしようという結論から、10月14日(土)13時30分より舟入高校において、費用1000円～2000円程度で実施することに決定しました。皆さんの思いはいろいろあるかと思いますが取り敢えず決定事項のみお知らせします。

## 同期会収支報告

		収 入	支 出	残 高
11/01/01	前年度からの繰越	233,273		233,273
11/06/15	スライド代(前期未記帳)		3,000	230,273
11/06/15	郵送用タック紙他		4,725	225,548
11/07/12	同期会便り印刷及び送料		50,200	175,348
11/10/13	祝賀会案内封筒代他		2,080	173,268
11/10/13	祝賀会案内送付切手代		2,400	170,868
11/10/25	西田(一場)啓子さんご霊前		10,000	160,868
11/07/16	記念事業寄付金	2,000		162,868
11/11/15	同期会寄付金	4,000		166,868
11/12/31	同期会費(150名)	150,000		316,868

訃報 次の方がご他界されました。心よりご冥福をお祈りいたします。  
1組 西田(旧姓 一場)啓子様(平成10年4月14日逝去)

## 編集後記

今年も同期会便りを皆様の手元にお送りすることができ、編集に携わった者一同、大変喜んでおります。今後も、同期生の情報紙として充実させていきますので、お気軽に情報をお知らせ下さい。なお、重ねてのお願いですが、同期会費ならびに同窓会費につきましてご協力のほどお願いいたします。